

# ストレージ容量不足の悩み



## 課題・悩み

- ストレージはオンプレに置きたいが、ストレージコストと設置面積は削減したい。
- 急激なデータ増加があっても増設をせずに、リプレース時期までしのぎたい。



## 解決策：利用者に気づかれない自動階層化ソリューションを実装する。

- a. FabricPool機能 (ONTAP/Cloud Volumes ONTAPの機能)
- b. Cloud Tieringサービス (FabricPoolの従量課金版 - SaaSサービス)
  - アクセス頻度の低いデータをクラウドストレージに自動階層化することでオンプレミスの容量を削減する。
  - ユーザーは階層化されたかどうか知ることができない。
  - 階層化されるまでのおおまかな期間を指定できるため、階層化タイミングもコントロールでき、階層化のON/OFFも後からボリューム単位で指定可能。
  - アクセス頻度の多いHotなデータは階層化されずにストレージ内に残る。

## キーワード

- FabricPool (ONTAPライセンス販売)
- Cloud Tiering (SaaSサービス)

## 関連動画・資料

- [ONTAP 最新機能・最新ハードウェアによる次世代インフラ](#) (動画5:00~6:12)
- [自動階層化ソリューションCloud Tiering Service](#)
- [NetApp Cloud Tiering Service](#) (動画・デモ有り・英語)
- [Automated Data Tiering in the Cloud with NetApp](#) (UIが古いが、詳細なデモ)
- [クラウドObjectストレージとの連携機能「FabricPool」の謎を解け！ \(ストレージチャンネル\)](#)
- [オブジェクトストレージとの自動階層化を実現する『FabricPool』 \(パートナー様サイト\)](#)